

【第5回 佐賀県災害警戒本部会議】 7月11日

危機管理防災課長／14時30分現在、人的被害は1名死亡、2名行方不明。

10時51分、防災ヘリかちどきが玉島川河口付近で、人らしきものを発見。11時41分、県警が船で救助を行い、14時32分に検死が終了し死亡を確認。

男性だと分かったが、死因や身元は確認中。発見の状況等から、捜索中の行方不明者と関係があると考えられる。

捜索には、海上保安庁も船を出して、ご協力いただいている。

警報はすべて解除。被害が大きかった唐津市は、災害対策本部を残し、避難指示も一部残っている。6世帯11名が避難中。

県土整備部／河川の被害箇所は36か所。土砂崩れによる通行止めは、1か所改善されたが、その後のパトロールで新たに1か所の土砂崩壊があり通行止めが発生。合計10か所。全区間をパトロール中で、被害の概要はつかめていない。

警察本部／平原の家屋倒壊現場の検索、救助活動を中心に行っている。午前と午後2回、県警ヘリで災害現場付近上空と玉島川から河口、海にかけて検索等を行っている。

自衛隊／自衛隊第4師団の活動は、8時から人命救助活動に従事。

航空自衛隊の災害救助犬3頭とトレーナー等を含む隊員9名の災害救助の増強を要請し受理された。17時ごろには現地に着し、現地確認、情報収集後、明日からの活動に備える。迅速に不明者の捜索、救難を推進できるよう、あらゆる手段を活用する。

佐賀広域消防局／7時に活動を開始。倒壊箇所と河川付近の捜索を行っている。

午前中は、唐津市消防本部43名、唐津市消防団26名、県内応援106名。午後は、唐津市消防本部36名、唐津市消防団68名、県内応援139名、延べ245名で活動捜索を行っている。

16時に活動調整会議を予定、明日も本日と同規模の活動を予定している。

司会／気象台の発表データから、今後の天候をご紹介します。前線が対馬海峡付近に停滞。本日は、いったん天候が回復しているが、明日は明け方から夕方にかけて、雷を伴って一時強く降る可能性がある。引き続き、天候には十分注意が必要な状況が続いている。

防災監／私から被害状況の概要を情報共有したい。道路、河川、山地の崩壊を書き込んだ。緑が河川の護岸の崩れ、青が道路の冠水、赤は道路の法面の崩壊。

東部を中心に道路が冠水し、六角川や牛津川の被害が少ない。プロジェクト I F の取組みが、一定の効果を出しているのではないか。今回の雨が、筑後川ラインと唐津ラインに集中していることから、山地で様々な崩落や東部での冠水が集中した。

明日も雨が降る予報が出ている。地盤が緩んでおり、土砂災害への警戒が必要だ。河川の状況を見に行く行為は、危険だから避けてほしい。

引き続き、各機関と連携しながら対応したい。